



「未来づくり」の取り組みを深化させ、JR産業の魅力を向上しよう！

2023年 3月 9日

日本鉄道労働組合連合会

連 合 2023 春 季 生 活 闘 争 政 策 ・ 制 度 要 求 実 現 3. 7 中 央 集 会

働くことを軸とする安心社会 -まもる・つなぐ・創り出す-

連合中央闘争委員会は、3月2日、日比谷公園大音楽堂で2023春季生活闘争のヤマ場にむけ、「未来づくり春闘」の取り組みを進めるとともに、「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけた政策・制度課題の取り組みに意思統一を図るため、「2023春季生活闘争 政策・制度 要求実現3.7中央集会」を開催した。当日は、WEB傍聴を含む2,472名が参加した。



冒頭、主催者を代表して挨拶に立った芳野友子中央闘争委員長は、今次闘争を取り巻く環境やこの間の取り組みについて触れたうえで、「賃金・物価・経済が安定的に上昇する姿へとステージを変えるべく、今次闘争をターニングポイントとして賃上げを勝ち取り、大きなうねりをつくり上げていく。組織の総力を結集し、最後の最後までともに闘おう」と力強く述べた。

政党激励あいさつでは、立憲民主党の泉健太代表、国民民主党の玉木雄一郎代表が各党を代表して激励と連帯のメッセージを送った。続いて、有期・短時間・契約等で働く仲間の代表者による現場の切実な現状・実態報告と今次闘争にかける強い決意、さらには学生代表から今次闘争における労働組合への期待などが熱く述べられた。



最後に、集会アピールを全体で確認した後、清水秀行中央闘争事務局長による総括・団結がんばろうで、2023春季生活闘争勝利に向け、すべての働く仲間が一丸となり、組織の総力を結集して、力強い運動を展開し、最後まで闘い抜くことを確認し合った。

「くらしをまもり、未来をつくる。」最後までともに闘おう！



また、集会の前段で連合中央闘争委員会は、構成組織・地方連合とともにアピール行動を実施し、衆議院議面および参議院議面にて、2023春季生活闘争方針でも確認された「2023年度予算編成や2023年度税制改正実現」、「価格転嫁や取引の適正化につながる諸施策の実効性の向上」、「すべての労働者の雇用安定・人への投資拡充」などを盛り込んだ要請書を立憲民主党・国民民主党の両党に手交した。